

2018.08 - 2021.12

ANMITSUYOMOGITEI PRESENTS

R-18
FOR ADULTS

ANMITSU TOUHO HISTORY

Vol.

4





2018/08/10 C94
お百度上手の早苗さん



最近

うちの神社によく参拝に来る男の子がいます

110
シヤ

えと... 今日で20日目でしたっけ...

せ、精が出ますね...

はい...っ 一日も休めませんから...っ

どうしても叶えたい
お願い事がある
みただったので

いっあ
参拝します

言中
通ります

百日間
毎日参拝する
【お百度参り】を
教えてあげたら

欠かさず毎日
参拝に来られる
ようになりました

真面目で
信心深くて...

純粹でいい子...

早苗さんと…
両想いに
なれますように…っ

ただ…
そのお願い事が—



まさかそんな
お願いとは思わず…
「信仰をすれば
きっと願い事は
叶います」
神は
あなたを助けて
聞かずに…っ
—なんて
つい言ってしまった
ばかりに…っ

かあま…っ

なんと
お願いを
したんですか…?



その上—



そんな…

そん…なの

言え…
ません…っ

どうやら…

本人はお願いが
声に出ちゃってる事に
気づいてないみたい…

それを
指摘する
訳にもいかず

無垢な好意を
無碍にできる
訳もなく

そ…

た…

そっか…

連日のように
告白を聞き続けて
いると…

も…

どうにかなって
しまいそうで…

さ、早苗さん

もっと
お願いを成就
しやすくするには
どうしたら…？

もっと!!

ど、どうしても
叶えたいんです
…っ

何かあったら
教えてください…!!

相手がまだ
子供とはいえ…

70シユ

守矢神社の
参拝は効きますね
…なんて
おちんけ

え
あ…ちよ





意識しないようにと
思えば思うほど...

この子の
濡れた髪や...
潤いのある唇や...

張り付いた服が
煽情的に見えて...

——つて
子供相手に
何考えて——ッ!?
意識しすぎて
動悸が収まらない
いい——ッ!!



落ち着け
落ち着け...
相手は子供...
それも純粋な子
なんだから...

平常心で...
平常心で
接すれば—
ん?



なんかすごく
コツチ見て...





あ……

おろ

おろ



す。すいません
僕……ッ!

待つ……ッ
ダメ……!
そっちは
滑るから……ッ!

危ないッ!!



え……あ……
ちょ……!

す、透けっ!?

おろ

無垢なままなのに
本能で硬く
しちゃってる

小さいのに
私を押し上げて
くる——ッ

硬いの当たって
気持ちいい——♡

ぐりぐり擦れて
気持ちいい——♡

もっと..
感じたい..っ

はー

私の事が
好きって気持ち..っ

私のために
おつきくさせた
ちんちん..ッ

もっと..
もっと..

感じ..た——♡



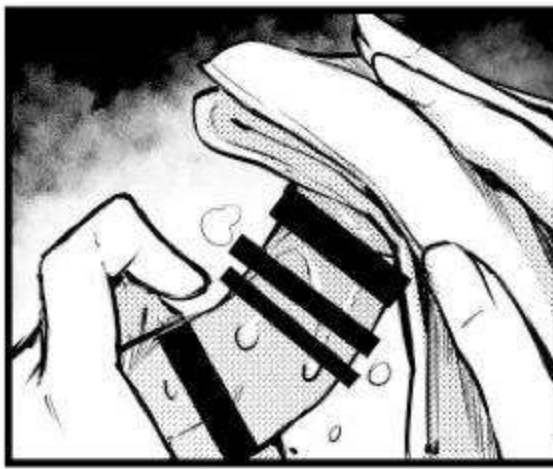
この時の早苗さんは
いつもと違って
少し変だった様に
思います

だけど僕は
初めての感覚がして
頭が回らなくて
何が起こったのか
よく分からな
かったです



その後
落ちてから
早苗さんが教えて
くれました

早苗さん曰く
この白いは
「穢れ」という
悪いモノで



最初は
驚いたけど
これも穢れなんだと
分かって
安心しました

これを出すのは
沐浴と同様
心身を清らかにする
意味があるらしいです



—その後は
いつも通り
お参りを
しました



—それから
お参りする前は



毎回
【穢れ】を出して
清めてもらっています

(2)

待...
待...

何回も
してさうなことに

なんだかそれが
気持ちいい
感じがして...

心身を清めるため
早苗さんは
積極的に禊を
してくれます

最初はソクソクと
変な感じがして
苦手だったけど

出ほうに
なっはら...

いつでも
いひて
いひて...





ん…♡

は…あ♡

た…ぽ♡

ふ…♡

ま…♡

うん…♡

ま…♡



早苗さんは
穢れを出すために
いろんな工夫を
してくれて

特に身体を
押し付け
られたり…

だんだん
穢れが上がって
きましたよ…♡

力を抜いて…
身をゆだねて一気に
出しましょうね…

ほら…♡

耳を
舐められたりすると
凄くゾクゾクして…

腰が抜けるように
穢れが
溢れてきます

たくさんの
穢れが出ると
早苗さんは凄く
満足そうにしています

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡

ま…♡



ダメーっ
ちゃんと
見てっ

挟まってる
とこ見てっ

出るとこ
見てっ

早苗さんの裸も
最初は見たら
怒られると思って
いたのですが

穢れを出すためだから
見てもいいんだよ
と教わりました

それから
お風呂でする事も
多くなりました

全身を使って
清められるから
より効果がある
らしいです



早苗さんは
凄く優しくて
その柔らかい胸で
挟まれると

何度も穢れが
出てしまいます



キレイに
するねっ



お願い事を
叶えるために毎日
お参りに行って…



その度
早苗さんは優しく
丹念に禊をしてくれて

僕は今まで以上に
お百度に熱心にな
っていった…



だんだん——
日を重ねるごとに
禊をする回数は
数を増していった…



え…
どうしたの…?



お百度を
諦めたい…
なんて——っ

…
だって…





入ーッッ

ちゅっ……ちゅっ……

えー?

早苗さんの中に僕のがー

ズッ……

ズッ

ズッ

ズッ

一度一度 心願成就の 願いを込めて 境内を往復して お参りする……

雑念が払われ 信仰を強くし 穢れが浄化する そうですね……

入口から拝殿まで 一日で百回 往復するというのも あるんですよ……

知って ますか……?



今のは
まだ一度目……

だから……
してみませんか……？

私の膣内を
百回往復する
お百度参り——

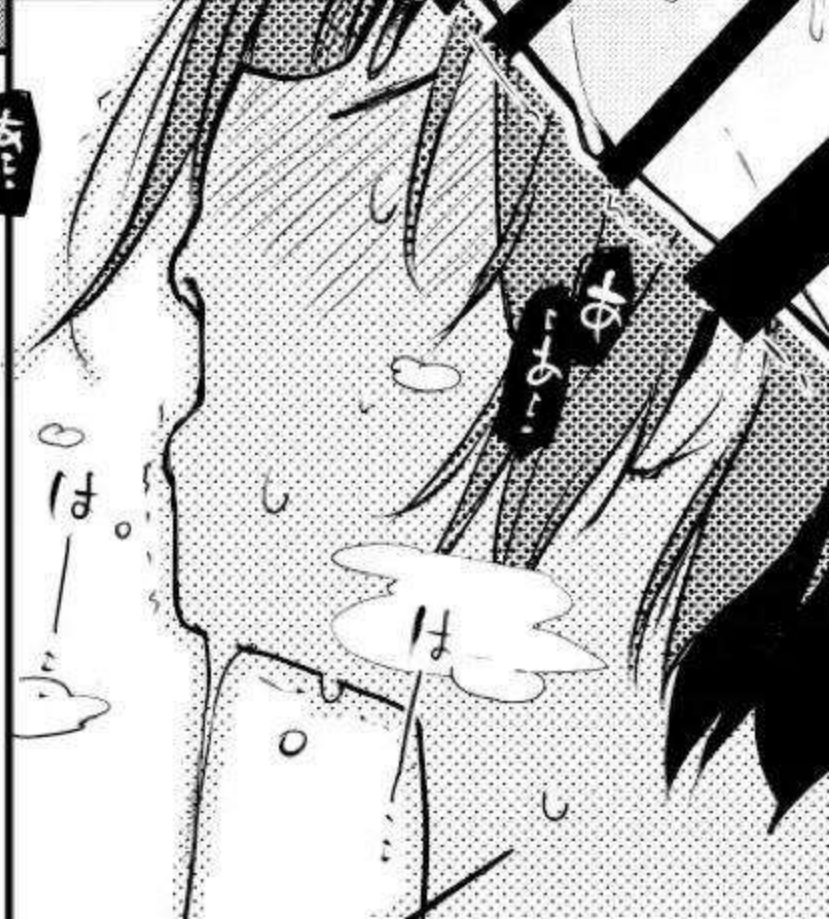


ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ



ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ





信仰すれば
きつとお願いは
叶うから

クッ
グッ

クッ
グッ

クッ
グッ

クッ
グッ

クッ
グッ

クッ
グッ



これからも
毎日お百度…
頑張ろうね

ひゃあ…
く…うっ…

クッ
グッ





知識と日陰の少女
パチュリー・ノーレッジ

本の傍に在る者こそ
自分とする
引きこもりの魔法使い

淑やかで美しい
その佇まいは
まさに知識人の
体現と言えるでしょう

僕はその
パチュリー様の
従者の小悪魔

この大図書館の
司書を勤めるうちの
一人です

パチュリー様は
本を読む時間を
至上の喜びとし
何よりも尊びます

僕たちは
その時間を穏やかに
過ごせるよう
日々助力をしています

僕としても
敬愛する主人に
お仕えしている
この時間は
何よりも
代えがたく
尊いものです

けれど
最近――

あ……っ

スー……

ス

こうして
本を読みながら
眠ってしまうことが
よくあります

パチュリー様は
一度寝落ちしてしまうと
数時間は目覚めません

呼び掛けにも
反応せず僕は
困り果ててしまいます

パチュリー様……
ここで寝られては
お風邪を……っ

しかし
それ以上に
困ったことは——

パチュリー様……

ユキ ユキ

スー……

スー……



あまつさえは……僕は……

パチューリ様……っ
ごめん……

なさい……っ



不敬にも
従者としての
敬愛を超え
主人に対し
恋情を憶えて
しまい……

パチューリ様……

あまつさえ
無防備な
主人を相手に
劣情にかられて
しまつて
いるのです……

パチューリ様
好き……っ
パチューリ
様あ……っ



外出しない
パチユリー様の肌は
白く透き通るようで

ほんのりと感じる
汗の匂いは官能的で
さえあります

パチユリー様の
乳房は
とても大きく
押し付ける
指も顔を埋もれて
しまう程です



そして
その香りに
突き動かされて
僕は我を忘れ
股間を
擦りつけ…

そのまま
胸の中で
果ててしまいます

ちゅっちゅっ…



また...
また...
やっちゃった
.....っ

また...

たぶらか

あ...あ...

は...は...



う...う...

こうして
日々パチュリー様が
うたた寝をする度に
いけない事だと
分かっているのに
同じことを
繰り返してしまいます



自分の恋情も
告白できない
不甲斐なさと

あまりに不遜で
愚かな行為に
自己嫌悪を募らせ

ごめん
なさい...っ!
ごめんなさい
パチュリー様...っ!

今日も
ただただ僕は
自分を恥じるばかり...

そして
もう二度と

このような
行いはしないと
硬く誓います

かあ...



僕は従者として
務めを果たすだけ……っ

もう昨日までの
失態は
繰り返さない……っ！

弁えろ：
弁えろ僕……っ



だけど
それからも——



パ……
パチュリー様っ

咲夜さんに
ハーブティーを
淹れて頂いたので

よければ
ご休憩——



!?





パチユリー…
さま……っ

そして
いつもと違う
緩んだ寝顔を
見てしまうと……



パチユリー様は
寝台に本を持ち込んで
読むことも
珍しくありません

落ち着くのか
そのまま寝落ちする事も
多々ありました

結局
僕は抗うことが
出来ず……
また同じ事を
繰り返して
しまいます

自分の意志の弱さを
ただ嘆くほか
ありません



パチュリー様の
居眠りは
日に二度三度とあり
その度に僕は
連日同じことを
繰り返してしまっ

と...とうとう
替えの下着も
間に合わなくなる
なんで...

うう...
僕はまた
こんな事...っ

い...今だけは...
絶対に射精は
出来ない...っ



我慢
しないと...っ!

ん...っ



だ...ダメだ
これ以上は
射精ちゃう...っ
今日はもう
我慢...っ

アハハ...

ん...っ



んんん...

んん...

ほら...

ちよ...
パチユリー様...!!

待...

寝ぼけ...!?

は...

あ...

あ...

カ...

ああ...

ほら...

あ...あ...あ...
なんてことを...

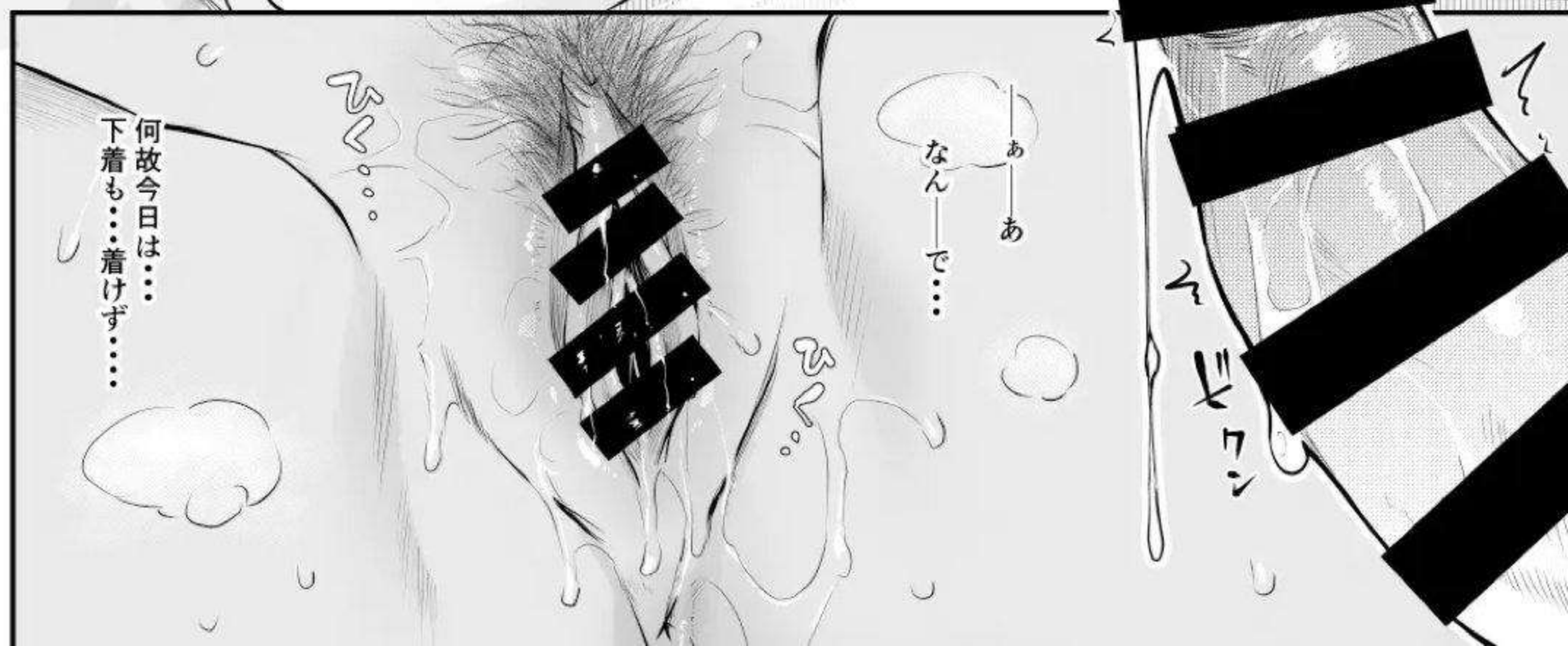
とどにか...

は...



それから——っ

急いで
お召し物を
変えて……っ
拭って……
着替えさせて……
それから……



何故今日は……
下着も……着けず……

あ——あ
なん——で……





あーあ
ごめんなさい……

ごめんなさい……
パチュリー様……っ

少しだけ……

少し……
だ……け……

うあーあ……っ
ぬるぬるで……一気に……っ！

でも……
膣内がうねって……
纏わりついて……
すごい……
凄い……気持ち……
……い……

は……い……

あ……

きゅん

あ

きゅん

きゅん

きゅん



パチユリー
さま………?

ふえ……?

え……あ
ば……

寝たふり…!?
寝たふり
だったんですか!?

まさか
ずっと…っ!?

だって…

だって…!

それが
止められ
なくて…っ

もっと触って…
甘えてほしくて…
つい…っ

そ…そんな
パチユリー様が…!?

そんな事を…
隠れて…!?

だって…

最初は
戸感った
けど…

貴方に
甘えられるの
気持ちよくて…
懸命な貴方の顔
見れるのが
嬉しくて…

その後
いつもオナニー
してたの…っ



だって……

貴方の前だけは……
淑やかな主人で
いたかったの……っ

ホントは
いやらしいなんて
……

知られたく
なかったから……っ

かあああ

そ…そんな…

そんなの…

ズルいですっ!

ん♡



僕の気持ちを知っているながら...

僕の行いを
知っていないながら...

自分だけはいやらしく見られたくないなんて...っ!

そんなのズルい!!

ズルい
ですっ!



それに分かってないっ

分かって
いません!

僕が

僕がどれだけパチュリ様の事が好きなのかを——ッ!!

ツ♥♥!?





その時は——

居眠り
しないように

僕が起こさないと
いけないみたいです——







出来るよ…
もう僕が
おしめの交換も
やってるし…っ

二か月
だっけ？
ちやんと
お世話
出来てる？

色白で
ぷにぷにで
まだ小さい♡
大人しくできて
偉いね♡
すぶ

おいっ
凄
いつちよ前に
お兄ちゃん
やってるねえ

あ
そうだ

なに
言ってるの…っ
僕は
別にそんな…
えー？
だって…

キミの妹なら
おっぱいも
好きかな？
ちよつと
あげて
みよつか？
な…っ？

キキキ



お姉ちゃん…
今日も…っ！

うんっ
どろぞ♡

つい
この前までは

おっぱい大好きな
おつきい赤ちゃん
って感じで

わたしがビューッて
してあげないと
グズっちゃうって
たのに？♡

よしよし♡
ほんとに君は
甘えんぼだね♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡



ごめん
ごめん♡

ほらっ
甘えたいなら
好きなだけ

やめてよ
っ！



あ
そっかさっか
久しぶりだから
先におっぱい
欲しかったよね？♡



そ…それは
その…っ
昔の話…っ！

え…っ？
昔って
ふた月前だよ？
あんなに
夢中だったのに？

アッっ



小傘の事も
別になんとも
っ



赤ん坊扱いは
止めてよ…っ！

もう子供
じゃないし…っ

そういうの
されたくない
っっていうか…

む、胸…とか
もう全然
興味無いし…っ！



あ……



じゅじゅ……



つい
恥ずかしくて
心にもない
事を……っ

あ……う



……
やっちゃった

ち……違っ

タッ



今度
どうにかして
謝らなきゃ...

ただいま...

カ
ラ
ジ

おま
や

おま
や

! ?



わちきは

赤ちゃんに
なり申した!!

ちゅぽ

そんなこと
ある?





しゅる
「い、い、い……？」

わーん

しよ……
しょうがない……



なに
無茶苦茶
言ってるの…!?

そんなの僕
無いし……っ!

しょうがないでしょ
赤ちゃん
なんだからっ!

いつも
私がおっぱい
あけてたんだから
いーでしょっ!



だ、だめだ……
完全に
駄々っ子の
赤ん坊になってる……

レスーっ



じゃあ
いただき
ます♥

ん……っ!
ん……っ!



恥ずかしい
けど……
元はといえば
僕が悪いし……

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

うん……
うん……
うん……

うん……



ん...
おっほい
出ないねえ...

だから
出ないから...っ!



そろそろ
止め...っ

ん...



じゃあ
代わりに
こっち吸う...♡

ん!?

ちゅっ



ちやんと赤ちやん
あやしてるみたい
に
頭撫でながら
褒めて…っ

授乳中の
赤ちやんには
優しく…
偉い偉いって
褒めてあげるの…っ！

う…
ううう…っ



ちよ…
そこ全然おっぱい
じゃない…っ！

んぶ…っ



いっばい
紙めれて…
え…あっ

ちゅーちゅー…
出来て…偉い…



な…
紙めれて
偉い…

上手に吸えて
偉い…

え…偉い…



あ…待っ…

ちよ…
そんなに
吸っちゃ…っ



あ...っ
あ...っ
あ...っ

すっこい
ミルクいっぱい
溢れちゃった...♡
もったい
ない...♡



う...っ

まだ愛情が
足りないのっ
役目
でしょっ



零して
濡れちゃったから
脱ぎ脱ぎさせてっ

早く早くっ
♡

ま、まだ
するの...??

キシッ



そっちも濡れてるの...っ
おしめ交換は得意でしょっ



ぬ...脱げた?
これでいい...?

ピンクでめるめるで...
ドキドキして直視できない...



こい

うわ!?



へへへへ
抱っこお♡
裸だと
すべすべで
気持ちいい…♡

赤ちゃんは
触ってあげると
喜ぶんだから
いっぱい触って
愛情を注がないと
いけないのっ



だから
抱っこして
ギュッと
抱きしめてっ♡

ちよ…
ちよつと
待って…!



なんか僕の…
包まれ…て…っ!

ん…?
なにになに?



わちぎ
赤ちゃんだから
分かんない…♡



なに...
これ...えっ

締め付け
られ...て...
僕...の...
出ちや...って...

<<<<...え



待つ…
止まっ…!

…これっ
気持ち
よすぎて…っ

溶けちや…

ちんちん
溶けちやう
から…っ!



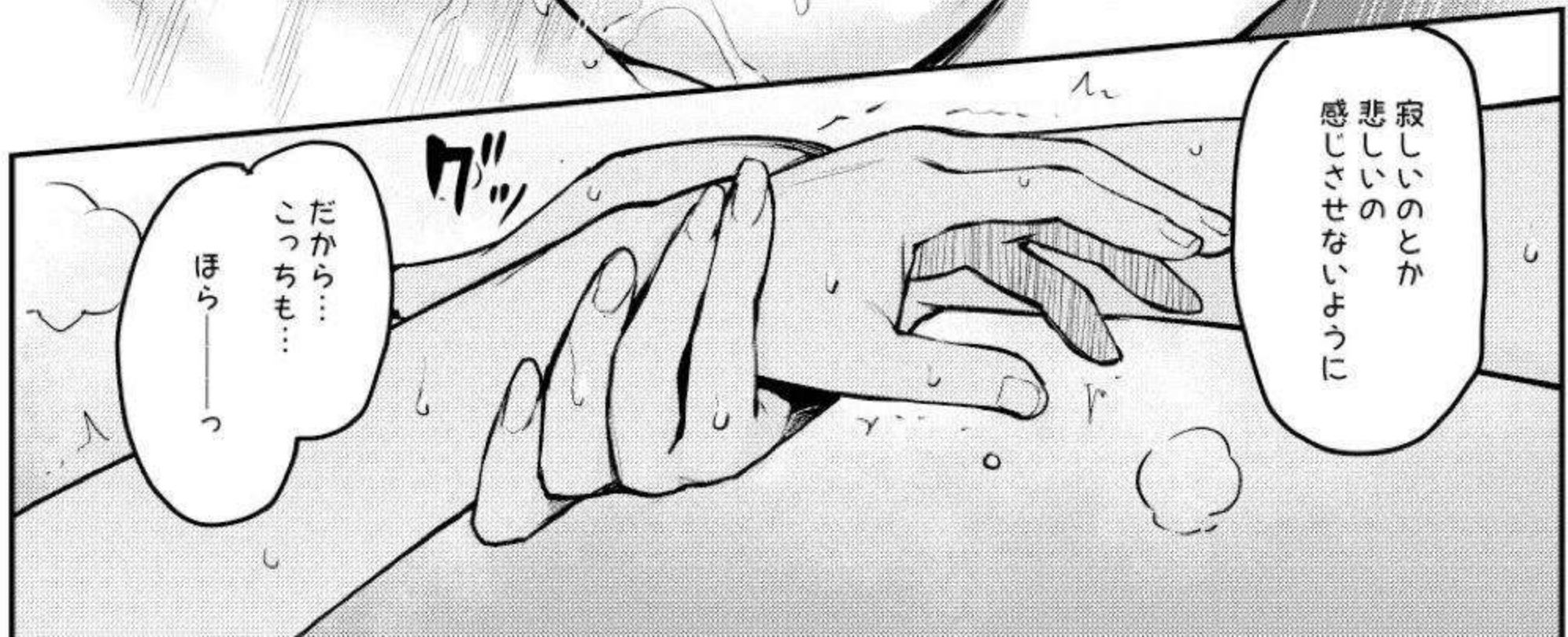
ダメ…っ
もっと…っ

もっと
するの…っ

好きなだけ…
甘えさせてくれる
って言ったから…っ

もっと
あやして…っ

甘や
かして…っ



寂しいのとか
悲しいの
感じさせないからっ

だから…
こっちも…

ほら…っ



もっと
撫でて触って
愛情を注いで……♡

特におっぱいは
興味ないって言われて
傷ついているんだから
……っ！

うわっ

お

おっ

おっ

おっ

偉い偉いって
褒めたげて♡
いっぱい
褒めて慰めて……♡

……っ
……っ
……っ

え……偉い……っ

お姉ちゃんのお
おっぱい偉い……

お姉ちゃん……
の……っ

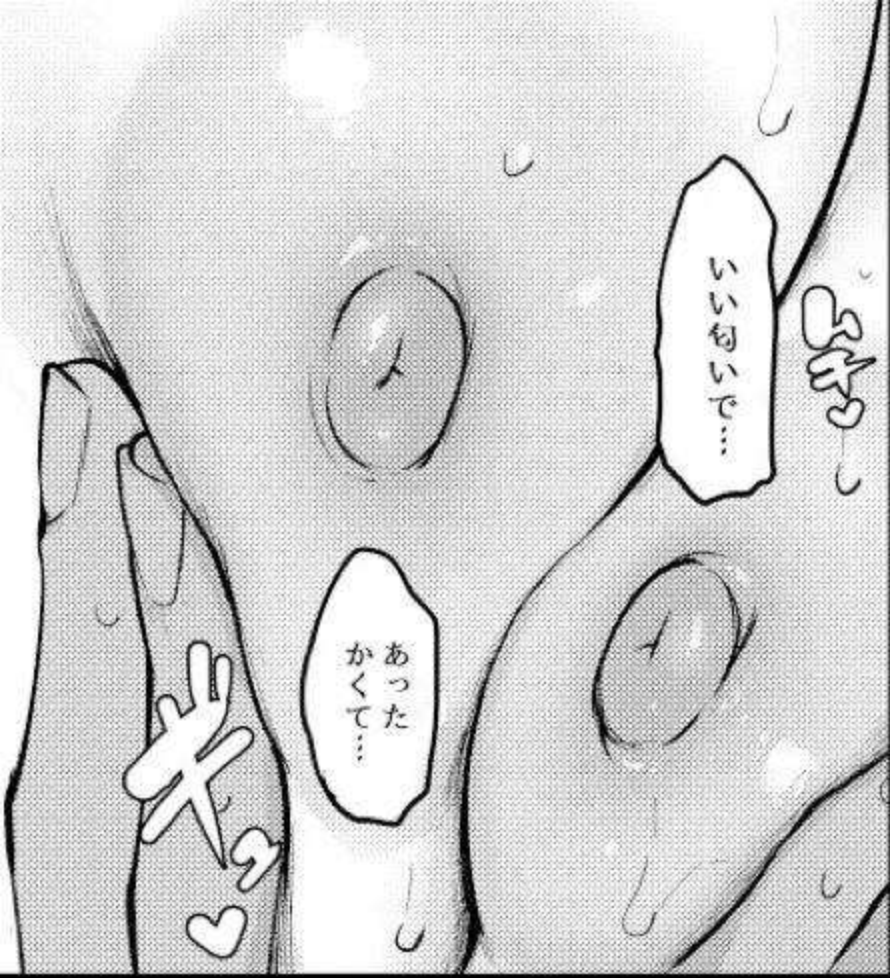
……っ

……っ

……っ

……っ

……っ





お姉ちゃん
好き…

好き…っ

お姉ちゃん
好き…

うん…

うん…

ありがとう…♡



だって…
いつまでも
甘えん坊の子とも扱い
じゃなくて
早く大人になって
お姉ちゃんと
対等おんなじになりたくて…

お兄ちゃんになって
頑張ったりしてて
つい…
あんな事…



あの…
お昼はひどい事
言っちゃって…

ごめん…
…なさい…

そんなの
もう気にしなくて
いいの♡
もう
わちきは
元気復活ってねっ！



だから…
甘えないように
してたのに…
結局…また…
恥ずかしい…

そっか…



——でも大丈夫……

私も赤ちゃんだったから

対等おんなじでしょ？♡



誰だって甘えなくなる時はあるんだから……

甘えるのは恥ずかしくないよ♡

頑張ったら頑張った分だけ甘えていいんだよ♡



じゃあ次は……



きゃ……

わっ

甘えん坊さん復活かな？♡

へへ……♡
いいこ……♡
いいこ……♡

わちきの
赤ちゃんに：
なり申すか？
♥









おいしい
食ったなら
自分で片付け
すんだぞ

僕は節つちやの店で
こうして昼ご飯を
食べるのが日課に
なっている

落とさかい
ようにねー

美宵さんはその際に
いつも僕の面倒を
見てくれながら
一緒に
お昼を取ったり
していた



はい



最初は一々
お節介な人で
煩わしく感じても
いたけど
毎日毎日
甲斐甲斐しく
接されてる内に

なんだか
親しい姉が
出来たように
感じていた



あ
そこ
まだ汚れて
るよっ



ただ



なんだあ
アイツ?
慌ただしいな…

便所くらい
もちっと
落ち着いて
行けないのかね…



ハイッ
終わった!!

お便所
行ってくる!!



ただ
不満があると
すれば

美宵さんは
良い人
それはきつと
間違いないと思う

ハア

ハア

ハア

ハア



もう…
なんなんだよ
コレえ…

美宵さんに
近づかれると
こうなってしまう事だ





もう夕方
ですよ

御寝坊
さん♥

そんなに
驚かなくても
良くない？

失礼しちゃうっ

え
美宵さん…!?
なんで…!?

なんで
って—

トイレ傍で貴方が
眠りこけてたから
ここに連れてきて
寝かせて

覚えてない？

え…?

ドキ

ドキ

ドキ

そう…
だっけ…

じゃあ
今のは…?
………?

あれ……





もしかして
 “夢”でも
 見たの？

え



それ！
 どんな夢？
 私は
 出てきた
 のかな？

キミは
 どうなった？
 なんか
 どうな
 こと
 されてた？

もしかして…



……やっぱり



大好きな
 おっぱいに
 甘えながら
 ちんちん
 弄られてた…？

…っ!?

ユッ

ユッ

ニキッ

ニキョッ

ん…

え

ん…

思い出し
ちやつた……?♡

お酒って
慣れるから
もつと上手に調整
しなきゃねえ

うっかり
しちやつた♡

でも
何されてたのか
まだ分かってない
みたいだからいつか♡

ありあ
またこんなに
勃たせて……♡

み
美宵さんっ
何して……!?

鯨



精通
するの♡

教えてあげるっ
キミはこれから
悶々としながら
いつも見ていた
私のおっぱいで



精通って
言っても

これが初めての
じゃない
けれどっ♡

な...あっ
あっ...!!

なに...コレッ
チンチンが
おかし...っ!!

今までも
何度も私が精通
させてたんだよ?
昨日も一昨日も
先週も先々週も...
その前も...

でも忘れさせたから
キミは覚えてない
んだけどね♡



この前は
カウンター内で
キミのおしやぶり
してたんだよ♥

初めての快感から
腰が引けてるのを
抱きしめて逃がさない
ようにしたら

私のお口いっぱい
精通しちゃって
腰が抜けそうに
なってたね♥



別の日には
遊びで一緒に
押し入れに隠れてたら
興奮しちゃった
んだよね?♥

窒息しそうなくらい
おっぱいに夢中
なっちゃって
可愛かったよ♥

その時は
撫でただけで
精通しちゃって
顔真っ赤になってたね♥



そんな事を
毎日毎日...♥
だから「頭」では
初めての精通なのに
「身体」は射精開発されて
感度全開の全身性感帯に
なってるんだよ♥

だからとっても
気持ちいい
でしょ?♥



子供なのに
乳首であんなに
感じちやなんて…
いやらしい
ねーっ♡



今日の
トイレの時なんて
最後は自分の乳首
弄られて
自らから腰動かして
精通しちやって
たよね♡



待っ…
訳…分かんない
…くて

ああ♡
ダメその顔♡
無理無理
可愛すぎっ♡

頭…おかしく…
なっちゃ…
う…っ

ちゅーしたい♡
しますね♡
んむ♡



ちゅーしたい♡
しますね♡
んむ♡

ハッハッ

カク

ほら
見て…♡
キミは
覚えてない
ですけど

おめでとうっ♡
これでちょうど
精通百回目記念
だよ♡

百回目の精通は
どんな気持ち？♡
仕込みに仕込まれた
快感の味はどうだった？♡

ふふっ
幸せそう♡
ちんちん喜んで
勃ったまま
跳ねちゃってるね♡

こんなに
出したのに
治まらないなんて
刺激が強すぎた
かな？♡

それなら

精通百回記念に…
こっちの初めても
味わっちゃおっか…♡

ふえ…？

ぬちゅっ

あ…あ

あ…あ

あ…あ

あ…あ

あ…あ



んは…♡

ほら
見て見てえ…♡

♡♡



筆おろし
しちゃったのは
本当に初めてだね♡
出たり入ったりで
私と一つに
なっちゃってるの
分かる……？♡

待っ…あ…
ちんちんが…っ
溶け…ちやう…っ



初めて続きで
ちんちん敏感で
大変だよねえ♡
でも
腰引いちやダメ♡
私の膣内も
偏食しないで
味わって♡

こん…な…
な…んで…



ん…？
だ…って…え♡
キミが
いけないんだよ…？

キミ♡

キミ♡

♡♡

♡♡





きつと
身体が本能で
快感を享受しようと
動いちやってるんですね♡

そんな
涙目でへこへこ
動いちやって…
可愛いね♡

なん…
で…
なんか…
勝手に…動い…
ちや…っ

う…あ…



そのまま
自分の本能に
正直になって♡

初めての
膣内射精の表情
たっぷり見せてねっ♡

カッ…

ピチッ





美宵さんの事
好きだから…
忘れたくない…っ

美宵さんの事
全部覚えていたい
—だって…っ

やだ…っ

美宵さんとの事
一つも
忘れたくない…っ

え…あ
ちよ…っ!?

だから…
どうしたらいいとか
僕にはよく
分かんないけど…っ

悪いこと
謝る…からあ
もっと
いい子になる
から…あ

ずっと
忘れずに…
一緒…に…っ

僕…
僕…っ!





ん...?
どうした?

結局
あの夜は

キョウ...
ヤンテモナイ
ムテスヨ!



アイツ
昨日泊まって
まだ寝てるのか?

まあそろそろ
起きてくると
思うからよ

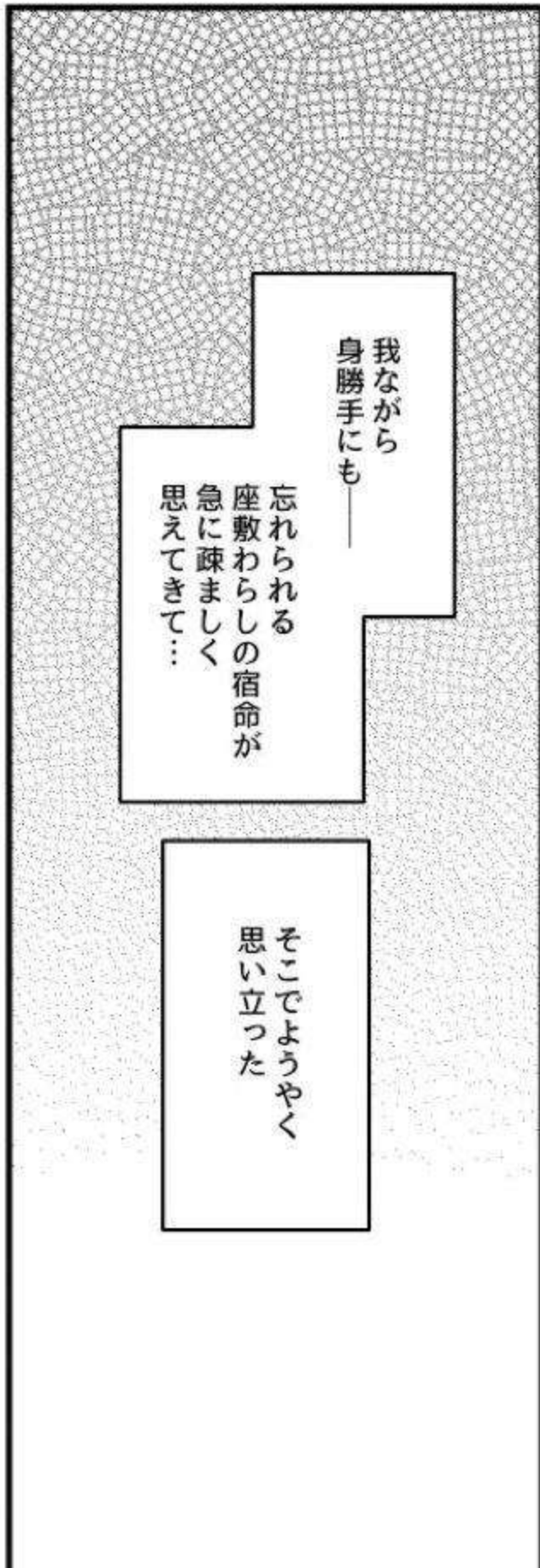
朝飯の準備して
やらなきやな



あの子はすぐ
今までと同じように
眠ってしまった

いつも通りなら
きつと次の日には
忘れたままのはず

そのはずだ...



我ながら
身勝手にも

忘れられる
座敷わらしの宿命が
急に疎ましく
思えてきて...

そこでようやく
思い立った



あの時の
あの表情が
頭から離れなくて...



どうせ
忘れられるからと
行っていた痴態

覚えられていたら
大変だ.....
恥ずかしい事が
多すぎる.....

あれから
ずっと悶々と
してしまふ...

キョ...

そっか

酔わされていたのは
私の方だったのか
と



キゅ...

もし
覚えていたら...

どんな顔して
会えばいいんだろ
...





ANMITSU TOUHOU HISTORY

Vol.4

発行日 ■ 2021/12/31

発行元 ■ あんみつよもぎ亭

発行者 ■ みちきんぐ

web ■ <http://anmitsuyomogi.seesaa.net/>

pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での
データ共有はご遠慮ください

2018.08 - 2021.12
ANMITSUYOMOGITEI

OHYAKUDO JOUZUNO SANGA SAN
INEMURI JOUZUNO DAITOSYOKAN
WACHIKIHA AKACHANNI NARIMOUSHITA
OKUNODAGA SEITSU JOUZUDE
SUMIMASEN